

# 滝根っ子だより

平成27年12月22日 発行  
滝根地区幼・小・中連携推進会議  
事務局：滝根中 広報担当：菅谷小

## 自分の思いや考えを持ち、伝え合う力の育成

滝根地区「幼小中連携ステップアップ事業」では、5校・園の教職員が指導力を向上させるための研修を行っています。10月2日（金）には、広瀬小学校を会場に5年生算数科「単位量あたりの大きさ」についての授業公開と協議を行いました。

この単元では、2つの量の比べ方や表し方を学びます。実は、このような2つの数量を比べる学習は、低学年の頃から「2つの数を比べる」「何倍になるか」などで学んでいます。そして、中学校での1次関数や2次関数につながるたいへん重要な学習でもあります。

授業では、子どもたちが自分でできることを生かしながら、友だちと協力して解決していこうとします。そのために、図や数直線などで表し、具体的なイメージをつくる事ができるよう配慮しました。活発な子ども同士の教え合いや学び合いの姿が見られた授業でした。

授業後には、グループ協議を行い、各教員が日々の授業改善に生かせるポイントを探りました。

### 【グループA】（13名）

○子ども自身が考えを図に書いたり、言葉にしてまとめたりして視覚化の工夫をしたことは、中学校にも繋がる大切な力である。

○小学校だからこそ、考えを視覚化した授業を大切にしていきたい。

○本時のように子ども同士で学び合う学習ができれば、中学校でも自ら学ぶ学習ができるようになるであろう。

### 【グループB】（17名）

○クラス全体で認め合う学習の雰囲気素晴らしい。

○子どもたち一人一人の考えを大事に認め、伸ばしていた。

○自分の考えをホワイトボードに書いて考えをまとめて意見交換をしていたのは効果的だった。

○中学校では、文章で書くことが面倒という傾向があるので改善していきたい。

グループ協議のあと、福島大学総合教育研究センター 丹野学 特任教授より、「幼小中の円滑な接続を図るために」と題して講話をいただきました。

○子どもの様々な問題はもはや学校だけの問題ではない。子どもを育てるのは地域・家庭も一緒。

○子どもは、半端な分かり方やでき方では学びが楽しいとは思わない。具体的な操作や思考をもとに、必然的な友だちとの学びあいをとおした、納得を伴う「学び」が重要である。

このほか、「幼小中連携で最も大切にしたい教育理念」「どうして連携が必要なのか」「算数・数学の連携の方法」など、たいへん示唆に富むご指導をいただき、参加した幼稚園・小学校・中学校の教員は、日々の保育・授業の改善に向けて決意を新たにしました。



田村市立広瀬小学校



田村市立広瀬小学校



田村市立広瀬小学校

## 滝根幼稚園児と小学校1・2年生

### 「遊びを中心とした交流」(12月)

各小学校の1、2年生が滝根幼稚園の園児と楽しく遊びました。この交流は、園児には小学校での活動への期待を持たせ、小学生には、遊びの準備をとおした考える力の育成や"上級生"としての自覚を持たせることをねらいとしています。また、あいさつや人との接し方など基本的な生活習慣を学ぶ大切な場でもあります。

小学生は、すっかりお兄さんお姉さんらしく幼稚園児をリードします。ゲームやおもちゃづくりの準備など、生活科での学習を生かす事ができました。

幼稚園児も第1回からとても成長し、靴の揃え方も見事です。落ち着いた活動の様子を見て安心しました。

詳細は、各小学校HPをご覧ください。



## 第2回小中連携授業研究会in滝根中

12月4日(金)に滝根中学校において第2回授業公開を行いました。宮城教育大学相澤秀夫名誉教授に2年生の道徳「風切るつばさ」の授業をしていただきました。たくさん先生方が見守る中、生徒は題材を何度も読み、登場人物が何を考えたか自分の考えをノートに素速く書きます。その後、相澤先生が、赤ペンを持ち賞賛しながら回っ



ていきます。参観の先生方も同様に生徒のよさを認めて回ります。隣の友人と内容を交流する場面では、疑問に思うこと、相手の考えの根拠などを聞き合う姿が見られました。

授業後の協議では、話し合いによって自分の考えを広げ、深めていく生徒一人一人の姿をそれぞれが報告し合いました。自分の考えをノートいっぱい書き、さらに深めていくという真剣な学びの姿を見ることができ、参観者も自然と笑みがこぼれました。

相澤先生からは、学習を価値ある学びとするため、また学びを深めるための手立てについてなど、多くのご指導をいただきました。

- 子どもは書かせれば書く
  - 考える時間を保証する
  - 子どもを”奮い立たせる”ため、短く語る
  - 価値ある学びを全員で共有する
- 等



これは各教科の授業にも生かすことのできる大切な授業の手立てです。第1回広瀬小、第2回滝根中の研修成果を十分ふまえながら、日々の学力向上に向けて努力していきます。